

おれんじ通信

知って支える認知症

40

若年性認知症を ご存じですか②

今回は、若年性認知症のBさん(60歳代女性)に話を聞きました。

Bさんは就労継続支援事業所に併設のカフェで働いています。タフレットで手順を確認しながらコーヒード豆をひいてお湯を注ぎ、コーヒートを淹れます。そして職員に確認しながらコーヒートをトレイに乗せ、お客さんのテーブルへと運びます。食品関係の仕事を長年続けていたBさんは、認知症の症状

の進行により、昨年からの事業所で勤務するようになりました。

「家でじっとしてられへん性分やから、ここで働かせてもらっています。周りの人が教えてくれるから助かっています」と、カフェの仕事や事業所での作業も行う働き者のBさんは笑顔で話してくれました。

認知症の方やその家族が「認知症になったら何もできない」と思うかどうかは、周囲の環境が大きく影響します。市では、認知症の方の



「でかぬて」が継続できたための支援や環境づくりを努めています。

◇ おれんじ通信への意見を応募してください。

■ 地域包括ケア推進課 06(4330)3013、FAX 06(43309)3814